

輝け 田底っ子

第 29 号

文責：校長 益永 一幸

令和4年度 田底小 チャレンジ目標

- ①最後までがんばろう ②上手に伝え合おう ③自他を大切にしよう



田底小ホームページ

小中一貫教育（9年間を見通した教育）の実践 ～9月22日「小中連携の日で授業公開～」



2年「算数」

昨年度、植木北中学校区（植木北中、吉松小、田底小）の3校は「小中一貫教育モデル校」の指定を受け、小中の9年間で子どもたちを育てるための教員同士の研修会を行ってきました。その中で、小中一貫教育目標と目指す子ども像を設定しました。また、「算数」「総合的な学習の時間」「人権教育」においては、小中一貫カリキュラム（重点的に各校で共通に取り組む内容）を作成しました。



3年「総合学習」

今年度、決まった計画や課題点を実践に移し、次年度からの「小中一貫校」への土台作りをすることにしています。

そこで、2学期の研修会（小中連携の日）では、田底小が担当となり、3つの授業実践とこれからの3校の取組の方向性について話し合いを行いました。2年生が算数「たし算とひき算のひっ算」、3年生が総合的な学習の時間「田底の安全守り隊」、4年生が道徳「わたしにできることはありますか」の3本の授業を公開しました。アンケートをとり、吉松小と植木北中の先生方から下記のようなとても素晴らしい意見をいただきました。



4年「道徳（人権学習）」

【アンケートから】

- 一生懸命授業を受けていてすばらしかった。ノート指導も日ごろの指導が行き届いていて真似していきたい。
- 教師の問いに対して、素直に答えている児童が多く感心した。
- 児童が「自分ごと」と捉え、主体的に学ぶ姿勢が素晴らしかった。
- 対話的で心温まる雰囲気での学習していた。
- 自分の考えをもち、発言することができる子どもたちだった。
- ロイロノートの共有ノートの実践を初めて見させていただいた。

植木北中学校区

小中一貫教育目標

共に学び、たくましく、夢に向かって挑戦する植木っ子